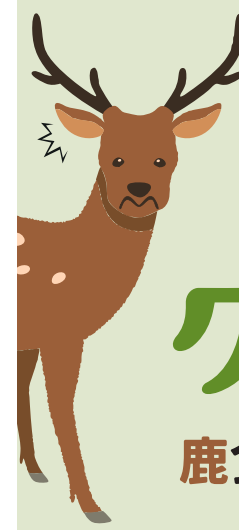


クサマモール 施工方法と注意点



クサマモール

鹿食害対策一体型植生マット

鹿による食害に
お困りではありませんか？



獣害対策工と植生マット工が一体化！
施工性向上（一体型マットの敷設だけで鹿食害対策になります）

① 設置 ② 鹿食害対策ネット展開

①の鹿食害対策ネットの折込部にある黒ロープを②のようにマットの中央部に移動させ、ネットをたるませた状態で打設して下さい。

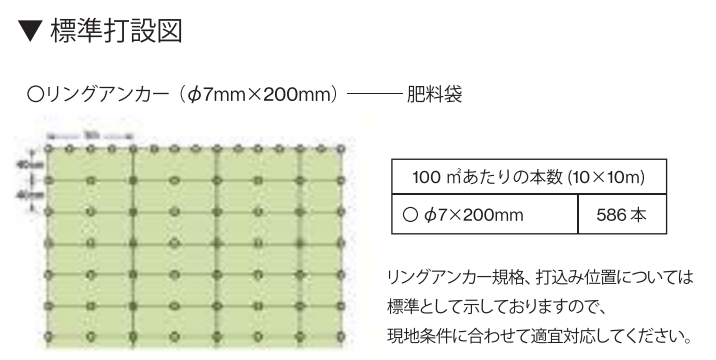
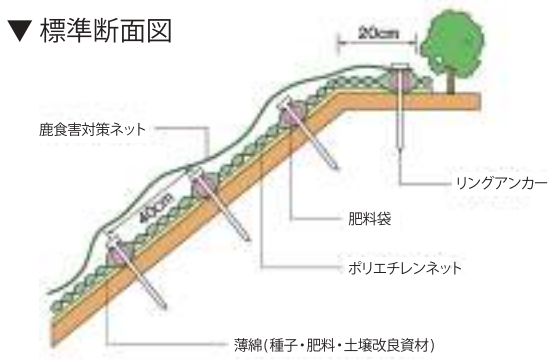
1 マット展開、仮止め 2 黒ロープを中央部に移動、ネットをたるませリングアンカー打設 3 肩部やつなぎ部、のり尻部はしっかり巻込む

4 鹿の口が入らないよう巻き込み固定 5 リングアンカーの打設が終われば完成

★★ 鹿食害対策ネットの役割 ★★

密部 密部の中に植物を生育させ鹿からの食害を守るエリア
リフトアップ&ガード

疎部 疎部からは植物を通芽させ鹿に食べられてもよいエリアとする



▼ 標準規格

| 植生マット | | | 鹿食害対策ネット | | | | | | 1袋入数 |
|-------|-----|-------|-------------|-----------|----------|--------|--------|--------|------|
| 幅 | 長さ | 肥料袋間隔 | 幅 ※広げた状態 | 素材 | 色 | 形状 | 遮光率 | | |
| 1m | 10m | 40cm | 1.5m | 高密度ポリエチレン | ディープグリーン | ラッセル編み | 疎部 12% | 密部 25% | 20㎡ |

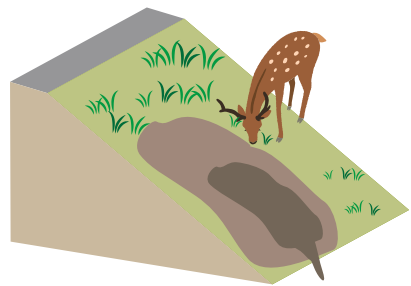


クサマモールの特長



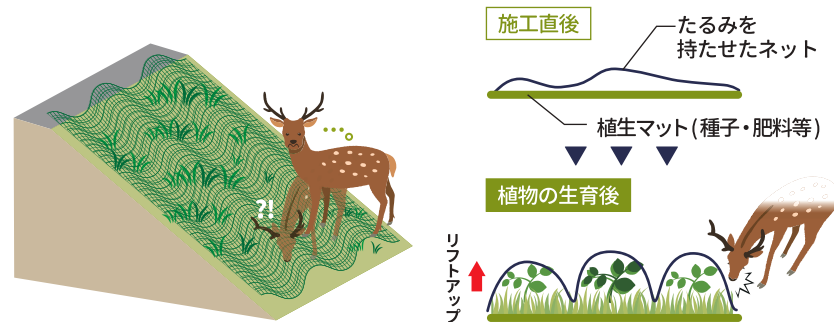
未施工

鹿が食べて裸地になった箇所から侵食が起これ、崩壊につながります。



クサマモールなら

たるみを持たせたネットが一体化していることで成長した植物に追従してネットが覆うため、鹿食害から植物を守ります。



施工後 1 カ月



植物がネットを持ち上げ始めている

施工後 3 カ月



ネット部で食害を軽減し植物が成長

施工後 8 カ月



現地の自然植生も生育し始めている

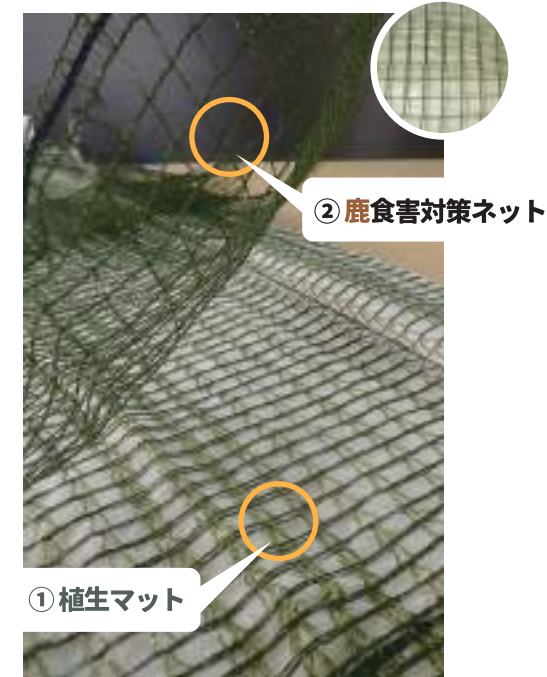
※ネットの色は試験採用タイプです。

クサマモール 製品構造



二層構造でマモール(守る)!

① 植生マット ② 鹿食害対策ネット



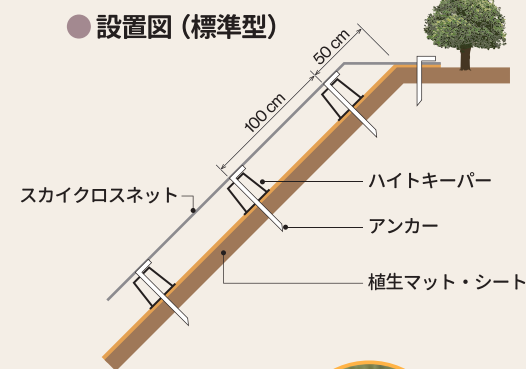
緑化能力は市場単価適用植生マット工と同等です。

適用範囲

- ・切土(土砂~礫混り土)
- ・盛土(一般的土質)

のり面緑化用獣害対策工 アニマルガード工法

基盤材等が剥落損傷するような食害と踏み荒らし被害を受ける場合は安心と信頼のアニマルガード工法をご検討ください。



樹林化も可能
(施工後約11年6カ月)

